

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	静岡英和学院大学短期大学部
設置者名	学校法人静岡英和学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	短大HP (https://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/about/information/finance.html)
収支計算書又は損益計算書	短大HP (https://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/about/information/finance.html)
財産目録	短大HP (https://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/about/information/finance.html)
事業報告書	短大HP (https://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/about/information/finance.html)
監事による監査報告(書)	短大HP (https://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/about/information/finance.html)

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:	対象年度:
公表方法:	
中長期計画(名称:	対象年度:
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/about/information/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

① 教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 現代コミュニケーション学科、食物栄養学科
教育研究上の目的 (公表方法：短大 HP (https://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/about/passage.html)) (概要) (大学の使命・目的) 静岡英和学院大学短期大学部（以下、「本学」という。）は、教育基本法及び学校教育法の規定するところに従い、キリスト教の精神に基づき、豊かな教養と実際に役立つ専門の学術とを授けることを目的とする。 (短期大学部学則第 1 条) (学科の教育研究の目的) 「現代コミュニケーション学科」 人と人をつなぎ社会を発展させるコミュニケーションについての教育研究を目的とし、幅広く豊かなコミュニケーション能力と、社会において活躍し得る実務能力を養うための教育を実施する。 「食物栄養学科」 栄養と健康についての教育研究を目的とし、科学的な思考力や実践力をもって社会に貢献できる食の専門家を育成する。 (短期大学部学則第 3 条)
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法：短大 HP (https://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/about/policy.html)) (概要) - 卒業の認定に関する方針の具体的な内容 学位を授与するために必要な能力や資質を学科ごとに示している。 - 卒業の認定に関する適切な実施状況 課程に定める所定の単位を修得した者のリストから、教務委員会及び教授会において、本学のディプロマポリシーに沿って卒業を審議している。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：短大 HP (https://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/about/policy.html)) (概要) 学科ごとに卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる目標を達成するために、基礎教育科目、専門教育科目、その他必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講することを示している。 また、カリキュラムの体系を示すために、科目間の関連性、履修の順次性、難易度を表現する科目番号システム（全科目に番号を付ける）を用いて、カリキュラムの構造をわかりやすく明示する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/about/policy.html、大学案内、募集要項） (概要) 次に掲げる知識、技能、能力、目的意識、意欲を備えた人物を募集。 - 高等学校などで習得する教科に関して、基礎的学力、論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力を身につけている。 - 学びで得た知識、経験をもって社会に貢献する目的意識、意欲がある。 - 本学の建学の精神を理解している。

② 教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：短大 HP (<https://www.shizuoka-eiwa.jp/information/organization.html>)

③ 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	人	－					人
現代コミュニケーション学科	－	5 人	2 人	1 人	人	人	8 人
食物栄養学科	－	2 人	3 人	1 人	人	2 人	8 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
2 人		31 人					33 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/department/subject/contemporary-communication/teacher.html https://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/department/subject/food-science/teacher.html					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④ 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
短期大学部	180 人	92 人	51.1%	360 人	181 人	50.2%	人	人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	180 人	92 人	51.1%	360 人	181 人	50.2%	人	人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
現代コミュニケーション学科	52 人 (100%)	5 人 (9.6%)	40 人 (76.9%)	7 人 (13.5%)
食物栄養学科	50 人 (100%)	2 人 (4.0%)	47 人 (94.0%)	1 人 (2.0%)
合計	102 人 (100%)	7 人 (6.9%)	87 人 (85.3%)	8 人 (7.8%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)
(備考)

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
- 授業計画（シラバス）の作成過程 ① 授業担当者がシラバス案を作成 ② 授業目的・内容・評価方法等について自己点検し、チェックシートを提出 ③ 専任教員による第三者チェックを実施し、授業担当者にフィードバック ④ 授業担当者が修正 - 授業計画の作成と公表時期 3月末

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
学修成果は GPA や CAP 制度等を利用し、履修単位の認定を厳格かつ適正に認定しているほか、成績の評価方法や基準を授業計画（シラバス）にて公開し、出欠やレポート、授業態度等複合的要素からの総合的な評価を徹底している。 また、評価には GPA 制度を導入している。総合的に判断して出した成績（総合点）を基に、予め公表している判定基準に照らし合わせ評価している。 卒業の認定は学位を授与するために必要な能力や資質を学科ごとに示している。課程に定める所定の単位を修得した者のリストから、教務委員会及び教授会において、本学のディプロマポリシーに沿って卒業を審議している。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	現代コミュニケーション学科	62 単位	有・無	単位
	食物栄養学科	65 単位	有・無	単位

		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
G P A の活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 （任意記載事項）		公表方法：		

⑦ 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：

大学HP及び学生向け冊子（キャンパスガイド）

<https://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/campuslife/facilities/>

<https://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/facilities/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
短期大学 部	現代コミュニケーション学科（2025年度入学者より）	650,000 円	250,000 円	260,000 円	施設設備費 2025年度以降の入学者が対象
	現代コミュニケーション学科（2024年度入学生まで）	620,000 円	280,000 円	200,000 円	施設設備費 2024年度までの入学者が対象
短期大学 部	食物栄養学科（2025年度入学者より）	650,000 円	250,000 円	360,000 円	施設設備費 実験実習費 2025年度以降の入学者が対象
	食物栄養学科（2024年度入学生まで）	620,000 円	280,000 円	274,000 円	施設設備費 実験実習費 2024年度までの入学者が対象

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 推薦系及び一般系それぞれの入学者選抜に紐づいた多様なスカラシップ(減免)制度を設け、入学に際しての金銭的支援を実施
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 就職支援講座(基礎: キャリアプランニング演習、フォロー講座) 実施 個別相談・支援(履歴書等添削、進路相談、面接対策) 実施 新卒応援ハローワーク(出張ハローワーク)、外国人留学生就職対策講座 実施
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生課所管の保健室と相談室では入学時の健康調査票に加えて 2019 年度から健康診断問診票の記入、面談などを行い、学生情報の早期の共有と対応を行ってきた。また 2023 年 5 月に学生修学サポートセンターが開設されたことで、修学に係る障害者支援のコーディネートをセンターが専門に行うことで、全学の教職員が連携して学生支援を行うことができるようになった。2024 年度からはセンター付きの就業支援の専門家を週二日配置し、障害を持つ学生に対して早期からの就職支援を行っている。また、同じく 2024 年度から修学サポートセンター長および相談員、相談室カウンセラー、保健室看護師、学生課長の 5 人が月に 1 度集まって情報交換会を行い、学生情報の共有に努めている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法: 短大 HP (https://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/about/information/)

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。